

【講義2】
生活指導の充実に向けた指導実践
(義務併設)

令和6年(2024年)12月26日(木)14:30~15:10

北海道稚内養護学校 寄宿舍指導員
福山 祐太郎

内容

- 1 学校、寄宿舍について
- 2 家庭、学校との連携について
- 3 生活指導について

1 学校、寄宿舍について

北海道稚内養護学校 昭和52年 4月開校



今年度の学校	児童生徒数	32名
寄宿舍	児童生徒数	12名

1 学校、寄宿舍について

- 学校教育目標
「人々とかかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」
- 学校重点目標
児童生徒の将来を見据えた「学び」と「地域」と「対話」～みんなでつなぐ、つなげる～
- 重点目標を達成するため、舍務部門の役割
「学び」〈教育〉→生涯学習の理念を踏まえて、寄宿舍生と指導員、
寄宿舍生同士の対話による「生活」を通して、社会で生きる力を育む。
「地域」〈文化〉→キャッチフレーズを通して、寄宿舍生・指導員・保護者・地域との
対話を続け、チーム力を発揮する寄宿舍をつくる。
「対話」〈経営〉→寄宿舍生の質の高い寄宿舍生活のために、コミュニティスクールでの
運営委員と学校職員の対話を通して、効果的な生活環境を創造する。

1 学校、寄宿舎について

●下位目標〈キャッチフレーズ〉

各部署、個人で今年度の重点目標を達成するために設定している。
重点目標の達成はチーム(組織)として目指す。

男子棟: 共に生きる～寄宿舎生活を通じて社会生活に適應できる子どもを育てる～
女子棟: 挑戦～過去の自分を超える～



1 学校、寄宿舎について

●児童生徒の居住地



稚内市	4名
豊富町	1名
浜頓別町	4名
中頓別町	1名
利尻富士町	1名
礼文町	1名

(学部内訳)

小学部	4名	2:2
中学部	2名	1:1
高等部	6名	3:3

フェリーは片道2時間弱。
天候により欠航することもしばしば。
早めの帰省をする家庭もある。

1 学校、寄宿舎について



寄宿舎から	
公園	600 m
コンビニ	4.1 km
スーパー	3.9 km
市立病院	8.8 km
市役所	9.1 km
稚内空港	3.4 km
宗谷岬	20 km

稚内から	(車で)
名寄	166km(2時間30分)
旭川	238km(3時間40分)
札幌	264km(5時間20分)

2 家庭、学校との連携について



2 家庭、学校との連携について

◎引き継ぎ方法

・連絡帳(寄宿舎←→家庭)

→所定の様式にて体調や食事量、その日の注目ポイント(良かったこと)を記載する。

・サーバー内の掲示板(寄宿舎←→学校へ)

→連絡帳記載事項の他、指導内容や動向確認を記載する。

・寮務主任、舎監が往復。(寄宿舎→学校へ)

→朝7時半に寄宿舎に来て、夜間早朝の様子を伝達する。

2 家庭、学校との連携について

●個別に詳細な引き継ぎが必要な場合は別途、掲示板を立てて対応する。

日付	時間	場所	担当者	内容	備考	振り返り(いつ、どこで、誰が、何を)
7月20日		寮	寮務主任	大掃除。毎日、入居生を支援した。	寮の内部がきれいになった。	
8月16日		寮	寮務主任	大掃除。毎日、入居生を支援した。	寮の内部がきれいになった。	
8月25日		寮	寮務主任	大掃除。毎日、入居生を支援した。	寮の内部がきれいになった。	
8月30日		寮	寮務主任	大掃除。毎日、入居生を支援した。	寮の内部がきれいになった。	
9月5日	9:00~9:30	寮	寮務主任	寮の内部がきれいになった。	寮の内部がきれいになった。	
9月5日	17:40~18:00	寮	寮務主任	寮の内部がきれいになった。	寮の内部がきれいになった。	
11月7日		寮	寮務主任	寮の内部がきれいになった。	寮の内部がきれいになった。	
11月7日		寮	寮務主任	寮の内部がきれいになった。	寮の内部がきれいになった。	
11月14日		寮	寮務主任	寮の内部がきれいになった。	寮の内部がきれいになった。	
11月15日		寮	寮務主任	寮の内部がきれいになった。	寮の内部がきれいになった。	

2 家庭、学校との連携について

◎伝え方

・良かったことは文字として残す。

→時間が経過してから読んでも、
本人や家族のモチベーションアップにつながるように伝える。

・できるだけ対面して言葉で伝える。

→単独帰省帰舎が少ない分、保護者と会える機会が多い。
表情や声色で伝わり間違いを極力なくす。

2 家庭、学校との連携について

◎足を運ぶ

・子どもの様子を自分の目で、耳で確かめる。

→「認識の差」をなくす。

・担任や学部の教員と情報交流をする。

→学校と寄宿舎での様子の違いを理解し、指導のヒントが得られる。

・寄宿舎に関わりの少ない教員とも交流を深める。

→いつ関わることがあってもスムーズに指導や、業務を進められるように準備をする。

3 生活指導について

●実態の共有と将来像の共有

- ・実態は学舎で共有する。
→個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用する。
- ・将来像は子どもと共有
→どうなりたい、何がしたい、何ができるようになりたい。
短期的な将来像と長期的な将来像を具体化して、
保護者、学校と共有する。指導の方向性を決める。

3 生活指導について

●指導の実践

- ・個別の指導計画の作成と検討をする。
→チェックシートの記載に基づき室担が作成した指導計画を、各棟指導員が再検討する。
より効果的な手立てや、誰とでも取り組める目標を設定する。

3 生活指導について

●指導の実践

- ・今年度より、下校前の全体引き継ぎ後に、各棟での打ち合わせを設定した。
→細かな引き継ぎや即時対応が必要な課題について共有する。経過報告も含めて毎日実施する。

3 生活指導について

●指導の実践

- ・研修日の活用
→月に一回の研修日を設定する。
今年度は、半期で3名ずつ(計6名)の舎生をピックアップして事例検討を実施した。
男女棟関係なく検討グループを編成して意見交流する。
「指導計画には載らないけど」「身につけてほしい」
「なんとかならないかな」を全体で考える。

3 生活指導について

●指導の実践

・学習会の活用

→基本的生活習慣や社会性についての学習会を実施する。

実態別、理解度別にグループ編成し、伝えたい内容が同じでも、伝え方に工夫をする。

舎生の意欲UP、集中力UPに繋がった。

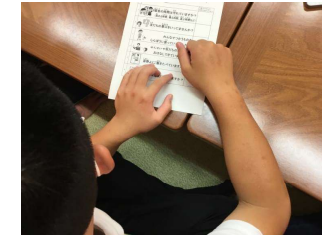
例)ICT機器

①カメラ機能で遊んでみよう

②iPadのいろいろな機能を使ってみよう(GarageBand)

③YouTubeやSNSの使い方を学び、楽しく利用しよう

その他 災害時の行動や歯磨き習慣等



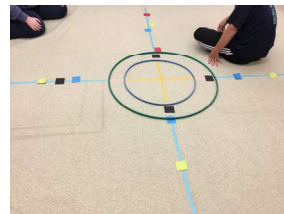
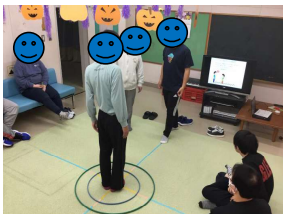
3 生活指導について

●指導の実践

・SST

→今年度、棟主任主催SSTを実施した。

楽しみながら、スキルアップ。



3 生活指導について

●指導の実践

・地域との繋がり

→公共施設の利用や飲食店の利用で社会経験を拡大する。

・1時間に一本のバス。繁華街まで片道30分かかる。

→外出先での活動時間を確保するために、工夫が必要。

舎生がネットオーダーを利用する等して、待ち時間の短縮と商業施設での時間の有効活用に。

3 生活指導について

●指導の実践

・地域との繋がり

→稚内北斗ライオンズクラブの支援により、外出や食事会を実施した。地域の方々に支えられているという感謝の気持ちを育み、社会経験の拡大に繋がる取り組みを企画している。
→今年度はビンゴゲームで交流会、舎生に希望した本(一冊)のプレゼント、舎生がリクエストした食事の提供をしていただいた。

※ホテルの宴会場を貸し切り、食事会や冬の花火大会を実施した年もあった。

3 生活指導について

●指導の実践

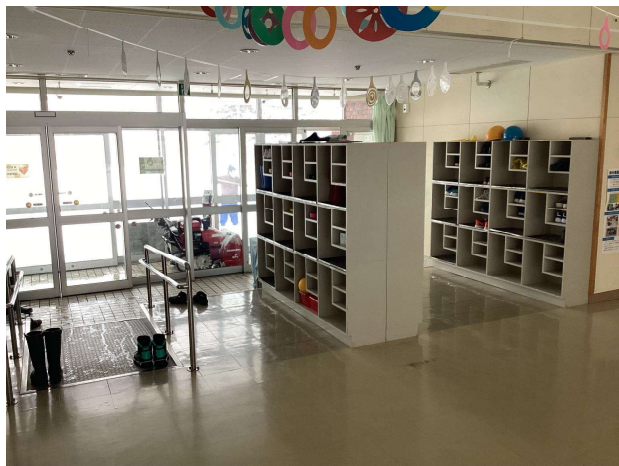
・地域との繋がり

→町内や海岸線のごみ拾いを町内の方々と協力して実施した。



4 施設設備について

玄関



4 施設設備について

ホール



4 施設設備について

ホール



4 施設設備について

プレイルーム



4 施設設備について

多目的室



4 施設設備について

洗濯室



4 施設設備について

乾燥室



4 施設設備について

洗面所



4 施設設備について

舎室



4 施設設備について

舎室



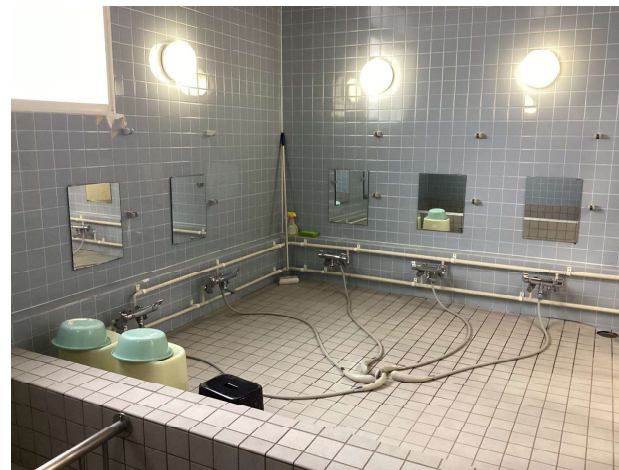
4 施設設備について

浴室



4 施設設備について

浴室



4 施設設備について

脱衣場



4 施設設備について

食堂



4 施設設備について

中庭

